

# 地域看護学

## 1 構成員

	平成17年3月31日現在
教授	1人
助教授	1人
講師（うち病院籍）	1人（0人）
助手（うち病院籍）	2人（0人）
医員	0人
研修医	0人
特別研究員	0人
大学院学生（うち他講座から）	5人（0人）
研究生	0人
外国人客員研究員	0人
技術職員（教務職員を含む）	0人
その他（技術補佐員等）	0人
合 計	10人

## 2 教官の異動状況

- 安梅 勅江（教授）（H13.4.1～現職）  
 巽 あさみ（助教授）（H16.4.21～現職）  
 中谷 芳美（講師）（H13.9.1～現職）  
 上村 妙子（助手）（H16.4.16～現職）  
 鈴木 理恵（助手）（H16.11.1～現職）

## 3 研究業績

数字は小数2位まで。

	平成16年度
(1) 原著論文数（うち邦文のもの）	3編（2編）
そのインパクトファクターの合計	0
(2) 論文形式のプロシーディングズ数	4編
(3) 総説数（うち邦文のもの）	0編（0編）
そのインパクトファクターの合計	0
(4) 著書数（うち邦文のもの）	3編（3編）
(5) 症例報告数（うち邦文のもの）	0編（0編）
そのインパクトファクターの合計	0

(1) 原著論文（当該教室所属の者に下線）

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. 巽あさみ, 小野雄一郎: 「子どもを虐待しているのではないか」という母親の虐待の認識と背景要因の検討, 医学と生物学, 148 (2) 8-13, 2004.
2. 巽あさみ, 小野雄一郎, 今枝敏彦, 島岡みどり, 蛭田秀一, 堀文子, 安藤詳子, 服部洋児: 各種頭側への上方移動介助における介助者の自覚的作業強度感と選好に関する実験的検討, 藤田学園医学会誌, 28 (2) 137-140, 2004. 印刷中.

インパクトファクターの小計 [0]

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

1. Sokejima S, Nakatani Y, Kario K, Kayaba K, Minowa M, Kagamimori S: Seismic intensity and risk of cerebrovascular stroke: 1995 Hanshin-Awaji earthquake. Prehospital and Disaster Medicine 19: 297-306, 2004.

(2) 論文形式のプロシーディングズ

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. Asami Tatsumi, Yuichiro Ono, Toshihiko Imaeda, Shuichi Hiruta Midori Shimaoka, Fumiko Hori: Psychophysical assessment of care-giving techniques in moving a client upward in the bed. Fifth International Scientific Conference on Prevention of Work-related Musculoskeletal Disorders, 1: 307-308, 2004

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

1. 中林正雄, 内山寛子, 久保田俊郎, 巽あさみ, 長井聡里, 野原理子, 百枝幹雄, 森晃爾働く女性の健康に関する実態調査結果 厚生労働省委託事業 (財) 女性労働協会 働く女性の身体と心を考える委員会報告書, 2004
2. 小野雄一郎, 吉田勉, 長岡芳, 今枝敏彦, 蛭田秀一, 島岡みどり, 堀文子, 巽あさみ, 安藤詳子, 服部洋児, 高齢者介護作業負担軽減をめざした移乗介助補助具の有用性と適用方法に関する研究 (課題番号13670346) 平成13年度~平成15年度科学研究費補助金 基盤研究(c) (2) 研究成果報告書, 2004.
3. 小林章雄, 柴田英治, 渡邊美寿津, 石川浩二, 巽あさみ, 高崎正子, 金一成, 職場環境等の改善の実施手順と効果評価に関する研究 厚生労働科学研究費補助金 (労働安全衛生総合研究事業) 分担研究報告書, 2005.

(4) 著 書

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

1. 森晃爾, 巽あさみ, 中林正雄, 長井聡里, 木下勝之, 百枝幹雄, 久保田俊郎, 久具宏司, 渡辺明彦, 宮城悦子, 宇津野栄: 産業医等産業スタッフのための働く女性の健康管理ハンドブック 厚生労働省委託事業 (巽は第2章 働く女性の健康管理のための産業保健スタッフの役割)

-女性労働者の健康支援のあり方-について担当) (財) 女性労働協会, 2005.

2. 中谷芳美, 久保田君枝, 奥野ひろみ, 深江久代, 松田正巳, 三輪眞知子, 鈴木千智, 小川亜矢, 櫻井尚子, 高橋麻季子, 他: 標準保健師講座3対象別地域看護活動. 医学書院, 2005.
3. 佐々木美佐子, 牛尾裕子, 村田篤司, 村井貞子, 松田正巳, 深江久代, 三輪眞知子, 奥野ひろみ, 鈴木千智, 永田文子, 小川亜矢, 中谷芳美, 松下裕子, 他: 2005年度版保健師国家試験問題-解答と解説-. 医学書院看護出版部編 (中谷は地域看護学Ⅱ「母子保健指導」「学校保健指導」の覚えておきたい重要事項を担当), 医学書院, 2004.

#### 4 特許等の出願状況

	平成16年度
特許取得数 (出願中含む)	0件

#### 5 医学研究費取得状況

	平成16年度
(1) 文部科学省科学研究費	0件 (0万円)
(2) 厚生科学研究費	0件 (0万円)
(3) 他政府機関による研究助成	0件 (0万円)
(4) 財団助成金	0件 (0万円)
(5) 受託研究または共同研究	1件 (6万円)
(6) 奨学寄附金その他 (民間より)	0件 (0万円)

(5) 受託研究または共同研究

巽あさみ (分担者) 「さおりにこにこプラン」佐織町健康日本21策定調査研究 6万円 (新規)

#### 7 学会活動

	国際学会	国内学会
(1) 特別講演・招待講演回数	0件	0件
(2) シンポジウム発表数	0件	0件
(3) 学会座長回数	0件	3件
(4) 学会開催回数	0件	0件
(5) 学会役員等回数	0件	3件
(6) 一般演題発表数	2件	

(1) 国際学会等開催・参加

5) 一般発表

ポスター発表

1. Asami Tatsumi, Yuichiro Ono, Toshihiko Imaeda, Shuichi Hiruta, Midori Shimaoka, Fumiko Hori, Psychophysical assessment of care-giving techniques in moving a client upward in the bed. Fifth International Scientific Conference on Prevention of Work-related Musculoskeletal Disorders, 2004. 6, Zurich (Switzerland)

2. Tomoyasu N, Nakatani Y, Shimanouti S, Morita K, Independence Support Program for improvement in ADL of the elderly, JANS Fifth International Nursing Research Conference, 2004. 8, (Japan).

(2) 国内学会の開催・参加

4) 座長をした学会名

巽あさみ (2004), 第77回日本産業衛生学会 4月 愛知

巽あさみ (2004), 平成16年度日本産業衛生学会東海地方会学会 11月 静岡

巽あさみ (2005), 第46回産業精神衛生研究会 1月 愛知

(3) 役職についている国際・国内学会名とその役割

巽あさみ 日本看護医療学会 編集委員

巽あさみ 日本産業衛生学会 評議員

巽あさみ 日本産業衛生学会 東海地方会 理事

## 8 学術雑誌の編集への貢献

	国内	外国
学術雑誌編集数 (レフリー数は除く)	0件	0件

## 9 共同研究の実施状況

	平成16年度
(1) 国際共同研究	0件
(2) 国内共同研究	1件
(3) 学内共同研究	0件

(2) 国内共同研究

小野雄一郎 (藤田保健衛生大学) 筋骨格系負荷の高い介護条件における各種介助技術の有効性に関する実験的研究」

## 10 産学共同研究

	平成16年度
産学共同研究	0件